

# 雅楽って おもしろい! 楽しい!

## 雅楽演奏家 山口 創一郎



背景 Photo: 小川幸三

皆さんは「雅楽」をご存知でしょうか。お聴きになったことはおありでしょうか。雅楽といえはすく思ひ浮かべるのは東儀秀樹さん、しかし曲はあまり聴きません。そもそも雅楽は今から1400年ほど前、と言いますと狭山池が築造されたのと同じ頃ですが、中国や朝鮮半島などを経て日本に伝えられた数々のアジアの音楽が日本古来のものと融合して日本の雅楽として確立され、宮廷音楽として宮中や大社・大寺の儀式で演奏され今に残っています。現在日本では雅楽の正式な演奏を伝承するのは宮内庁式部職業部です。

さて、今号のAGUAの夢人としてご紹介するのは、この雅楽をおもしろい! 楽しい! 音楽として狭山の地で日本全国に普及させることを夢みている青年雅楽演奏家・山口創一郎さんです。

それは一昨年(2019)のSAYAKAホールでの市民芸術祭、日本舞踊や洋楽のコンサートが数々上演されている中に、平安時代の宮廷人のようなコスチュームをまとった雅楽を演奏する舞台を見たのです。この町で雅楽を奏でる団体がある! と驚いたのですが、同時にこれは貴重な町の文化財だと感じ演奏後の楽

屋を訪ねました。そこで会ったのが先ほど舞台の中央で龍笛を吹き、美声で歌っていた雅楽師・山口創一郎さんでこの雅楽団体「狭山雅(みやび)会」の創設者山口渡さんの子息でした。創一郎さんは平成3年生まれの30歳。父の渡さんが天理大学雅楽部出身の演奏家だったので9歳の頃から雅楽の楽器の演奏法を習いました。姉弟は姉3人妹1人、そして男は創一郎さん1人の5人、全員が渡さんの影響を受け一家揃っての雅楽ファミリー、何の抵抗もなく雅楽の道に進むこととなりました。母の



山口一家の初めての演奏

ゆかりさんも音楽学校出身で音楽環境は十分でした。家では渡さんから学び、土曜日には一家で天理に赴き、天理大学の雅楽部のメンバーなどから指導を受け一家の雅楽の技術は向上しました。そんな中で父の渡さんが創設した「狭山雅(みやび)会」が演奏活動を開始。2000年6月大阪狭山市立西小学校の体育館で6年生全員を集め雅楽による音楽の授業を行いました。これをきっかけに「狭山雅(みやび)会」の演奏活動は市内の小学校を中心に広がり富田林市・堺市にまで及びました。プログラムは雅楽のほかに童謡や唱歌など現代の曲も加え、ゆかりさんがピアノ伴奏も付けました。この間に創一郎さんは市内の西小学校、第三中学校と進み、そして天理高校に入学、3類(実技コース)を選択し本格的に雅楽を学ぶことになりました。高校では主に「筆箒」を習い、やがて高校を卒業して天理大学に進学すると雅楽部に属し、ここでは「龍笛」の技術を学び、大学を卒業すると更に宮内庁式部職業部の著名な楽師に年に数回レッスンを受け、遂に雅楽の分野では珍しい「筆箒」・「龍笛」・「鳳笙」の三管を演奏するマルチプレイヤーになったのです。

現在は各管の演奏家として活躍。2019年には奈良・大阪・京都・兵庫・和歌山など各地の雅楽団体に個人演奏、2020年に動画サイトYouTubeで「山口創一郎のYouTube 雅楽教室」を開始、また演奏活動では若手演奏家を集めて雅楽ユニット「陽雅会」を結成、主宰し、「狭山雅(みやび)会」の演奏会の統括者として年2回の自主公演を企画する他に各種雅楽会、イベントの講師・奏者を務めるなど広い範囲で活動の幅を拡げています。



そこで創一郎さんに聞きました。「雅楽の魅力とは」と。創一郎さん「まず自由であること。五線紙などに縛られることが無いから西洋音楽にない音作りができる。またメトロノームなんて使わないからテンポ・速度も自由である。音の長さも一定ではない。例

えば4拍子で音楽が進んでいても、4拍目が少し伸びたりすることもあり、強弱の決まりも曖昧なところなど、同じ曲を演奏するにも毎回毎回テンポや表現の違いがあるところに無限のおもしろさがある。」と返ってきました。創一郎さんはその自由さを駆使して日本古来の音楽である雅楽という音楽のおもしろみ、楽しみを今の世に伝えていくことを目的に日々新たな企画を試みています。雅楽のコンサートが今までの古典的な祭礼的なイメージを払拭して「おもしろい! 楽しい!」。パフォーマンスとして表現されるのを楽しみにしています。①



SAYAKA ホールでの公演

### 雅楽で使う 管楽器



龍笛(りゅうてき) 筆箒(ひちりき) 鳳笙(ほうしょう)

## 山口創一郎の雅楽体験・稽古教室 Gagaku Experience

場所: 大阪狭山市今熊1丁目1133  
(※出張も可能です)

お稽古時間: 完全予約制

URL: <https://sougagaku.com>

※グループレッスンや演奏依頼など、お気軽にお問い合わせください。

